

大便器自動洗浄システム オートフラッシュCセンサー一体形後付けタイプ(100V式) シャワートイレ自動洗浄対応 OKC-A500SCW

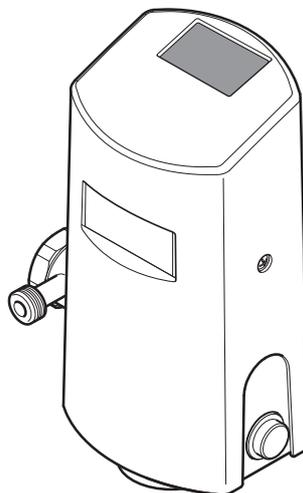
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

- 保証書に、お買い求めの取扱店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。
- 便座に関する内容は、便座に同梱の説明書に記載してありますので、この説明書とあわせてよくお読みください。



もくじ

安全上のご注意	1	設定のしかた	10
各部のなまえ	4	• 切替スイッチの設定	12
ご使用になる前に確認してください.....	5	• 水量調節スピンドルの設定	14
• 止水栓の確認	5	• 洗浄水量の設定	15
• 電源の確認	5	• 操作部の設定	16
• コネクタの確認	5	お手入れ方法	17
• 無線タイプの操作部について	6	• お手入れ	17
ご使用方法	7	• 操作部の電池の入れ替え方(OKC-8SMのみ) ...	19
• センサーによる洗浄	7	• 定期点検のおすすめ	20
• 手動洗浄ボタンによる洗浄	7	修理を依頼される前に	24
• その他の機能	8	アフターサービスについて	26
ご使用上の注意	9	仕様	28
		保証書	裏表紙



袋:PE

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明



「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害*のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

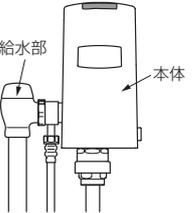
* 物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

 水場使用禁止	<p>バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。 ※ 感電・火災の原因になります。</p>	 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。</p>
 水かけ禁止	<p>本体部や操作部、配線に水や洗剤をかけないでください。 ※ 感電・火災や外観劣化の原因になります。</p>	 禁止	<p>電源線を傷つけたり、破損したり加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※ 電源線が破損し、感電・火災の原因になります。</p>

安全上のご注意

警告

 禁止	<p>交流 100V 以外では使用しないでください。 タコ足配線など定格をこえる使い方をしないでください。 ※火災の原因になります。</p>	 指示実行	<p>本体・電源プラグ・電源コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。 ※感電・火災の原因になります。</p>
	<p>ガタついているコンセントは使用しないでください。 ※感電・火災の原因になります。</p>		<p>本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。 ※火災・感電の原因になります。 ※漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。</p> 
	<p>トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールは使用しないでください。 ※感電・火災の原因になります。</p> 		
 接触禁止	<p>通電中は絶対にコネクタにさわらないでください。 雷が発生しているときは、電源プラグに触れないでください。 ※感電の原因になります。</p>	 指示実行	<p>お手入れ・点検の際は、必ず電源プラグを抜いてください。 ※感電の原因になります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 ※感電の原因になります。</p>		<p>バキュームブレーカーは安全を確保するために定期的に交換してください。（27ページ参照） ※バキュームブレーカーが正常に機能しないと状況によっては、バルブから吐水した水が逆流する恐れがあります。</p>
 火気禁止	<p>本体にタバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。 ※火災の原因になります。</p>		
 指示実行	<p>電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。 ※感電・火災の原因になります。</p>		
	<p>電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。 ※ホコリが火災の原因になります。</p>		

安全上のご注意

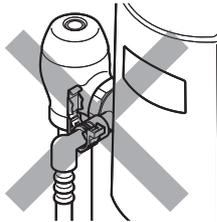
⚠ 注意

本体の上に乗らないでください。
※破損してケガをすることがあります。



本体に強い力や衝撃を与えないでください。
※故障・漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。

【クリップ式の場合】
クリップは給水ホースに確実にはまっていることを確認してください。
※はまっていないと給水ホースが外れ、漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。



禁止

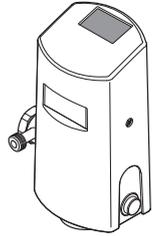
【クリップ式の場合】
クリップに衝撃を与えたり、引っかけたりしないでください。
※故障・漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。



凍結の恐れがある場所では、使用しないでください。
※凍結破損により漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりキズをつけたりしないでください。
※給水ホースが損傷し室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。

自動フラッシュバルブは重いため取扱いには十分注意してください。
※落とすと、自動フラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損し、漏水して室内浸水して家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。また、ケガをすることがあります。



ピストンおよびダイヤフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。
※この作業の前に必ず電源プラグをが抜いてあることを確認してください。



指示実行

定期的（年2回以上）に配管の周りを見て漏水がないか確認してください。
※ 部品の劣化・摩耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。

長時間使用しない場合は、止水栓を閉めて電源プラグをコンセントから抜いてください。
※誤作動や故障などによる予期しない事故の原因になります。

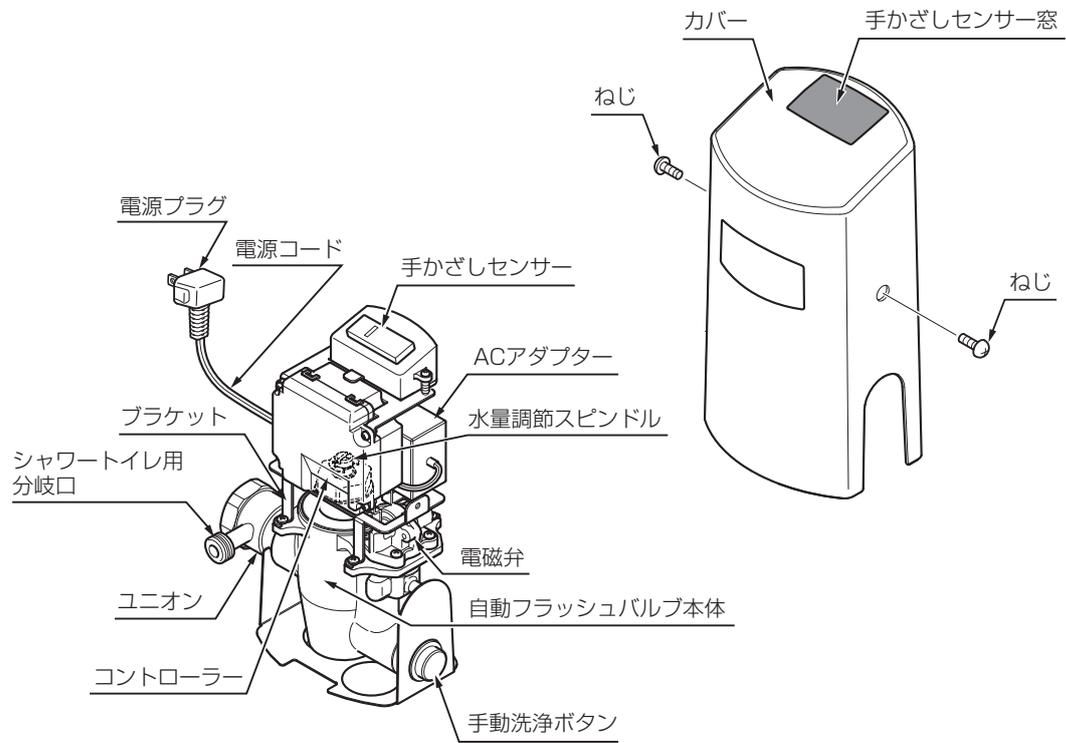
新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。

衛生陶器にヒビが入ったり、割れたりしたら、破損部は絶対に触らず、使用しないでください。
※破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。



禁止

各部のなまえ



ご使用になる前に確認してください

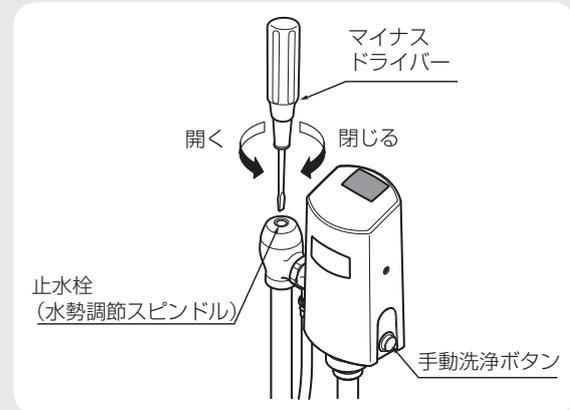
◆ 止水栓の確認

▶ 止水栓は開いていますか。

閉まっている場合は、マイナスドライバーで止水栓を開いてください。

使用場所の水圧・配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な設定をしてください。

- 右に回転.....水勢が弱くなる。
- 左に回転.....水勢が強くなる。



◆ 電源の確認

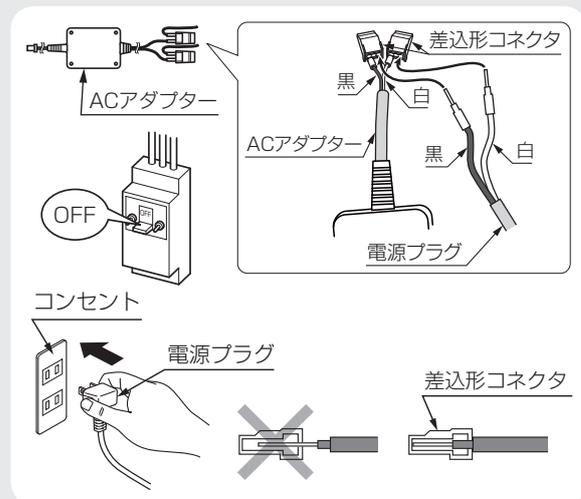
▶ 差込形コネクタは接続されていますか。

漏電遮断器が切れていることを必ず確認した後に、ACアダプターの差込形コネクタに電源線を根元まで確実に差し込んでください。

▶ 電源は入っていますか。

コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

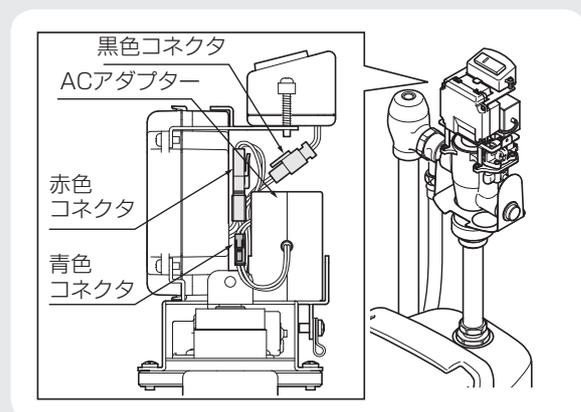
注意
交流 100V 以外では使用しないでください。



◆ コネクタの確認

▶ 各コネクタは接続されていますか。

コネクタがきちんと接続されているかご確認ください。



ご使用になる前に確認してください

◆ 無線タイプの操作部について

■ 使用上の注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

■ 機器認定

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 本機内蔵の無線装置を分解 / 改造する。
- ・ 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがす。

■ 使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■ 電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。

- ・ 電子レンジ。
- ・ 無線 LAN 機器
- ・ Bluetooth® 対応機器
- ・ その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の近く
（デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
- ・ 埋込型除細動器（心臓ペースメーカー）を装着されている方は、埋込部位の 22cm 以内にスイッチを近づけないでください。

ご使用方法

ここでは、センサーによる洗浄・手動洗浄ボタンによる洗浄・その他の機能について説明しています。

◆ センサーによる洗浄

1 シャワートイレの着座センサーによる感知

シャワートイレに腰かけると着座センサーが使用者を感知します。

2 フルオート便器洗浄

着座センサーが使用者を6秒以上感知し、使用者が立ち上がると、6秒後に自動洗浄します。

大小洗浄機能を大小洗浄に設定している場合、着座センサーの感知時間により、洗浄水量は変化します。ただし、おしり洗浄を使用した場合は、洗浄水量が「大洗浄」になります。

※フルオート便器洗浄開始時間はシャワートイレ側で変更することができます。（6秒後、10秒後、15秒後、フルオート便器洗浄なし）（シャワートイレの取扱説明書を参照ください。）

大小洗浄機能	着座センサーの感知時間	洗浄水量
大小洗浄	6秒未満の場合	—*
	6秒以上 50秒未満の場合	小
	50秒以上の場合	大
大洗浄のみ	6秒未満の場合	—*
	6秒以上の場合	大

*：自動では、流れません。手かざしによる洗浄は可能です。

※大小洗浄の判定時間はシャワートイレ側で変更できます。（50秒、120秒、150秒）シャワートイレの取扱説明書を参照してください。

3 手かざしセンサーによる洗浄

手かざしセンサー窓から50mm以内に2秒以上手をかざすと、洗浄水が流れます。

※手かざしセンサーでの洗浄は、常に大洗浄になります。



◆ 手動洗浄ボタンによる洗浄

停電のときなどに使用します。流れるまでボタンを押し続けてください。



ご使用方法

◆ その他の機能

■ 設備保護洗浄機能

一定時間、洗浄が行われない場合、便器の配管を保護、封水切れを起こすのを防ぐため、自動的に大洗浄が行われる機能です。

8時間毎、24時間毎、設備保護洗浄なしを選べます。ただし設備保護洗浄を行わず、長期間大便器を使用しないと、大便器が封水切れを起こす恐れがあります。

6L以下の洗浄水量の場合、配管を保護するため8時間毎をお勧めします。(14ページ)

■ 二重洗浄防止機能

一度洗浄を行ったら、10秒間経過しないと次の洗浄を行いません。

■ お掃除モード機能

図の位置に別売の掃除用磁石スイッチ（品番：A-3996）を1秒以上あてると、一度大洗浄を行います。その後は手かざしセンサー感知機能が停止します。

感知機能停止後、4分経過するか再度掃除用磁石スイッチを1秒以上あてると、再度大洗浄を行い、手かざしセンサー感知機能が復帰します。(18ページ)



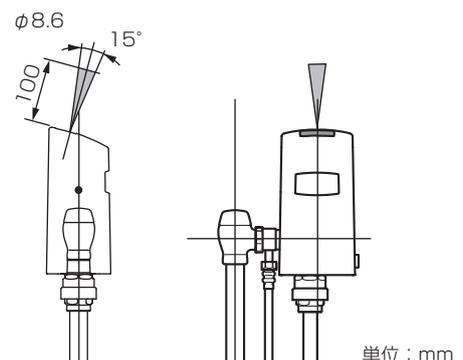
■ 初期洗浄機能

電源投入時に、大洗浄を1回流す機能です。出荷時は「しない」に設定しています。(13ページ)

● 感知領域

本商品オートフラッシュCは、手かざしセンサーおよびシャワートイレの着座センサーで感知するシステムです。手かざしセンサー感知領域はおおよそ右図のようなイメージです。

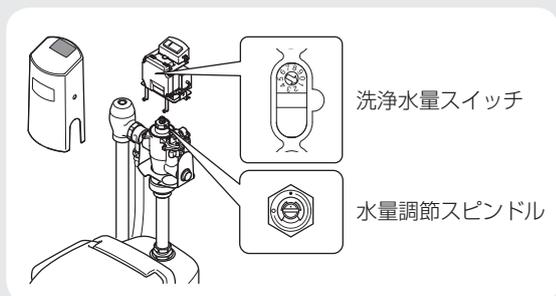
手かざし感知エリア：グレー紙の場合



ご使用上の注意

洗浄水量の設定を行うときは、必ず「洗浄水量スイッチ」と「水量調節スピンドル」の両方を設定してください。(12、14ページ)

洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。



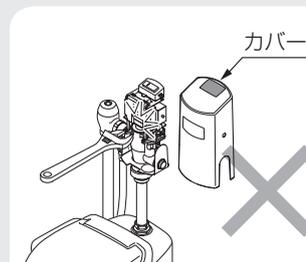
手かざしセンサー窓およびシャワートイレの着座センサー窓を汚さないようにご注意ください。

センサーの感知不良の原因になります。



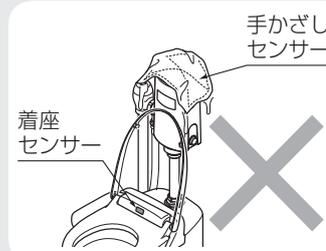
カバーを外してメンテナンスを行うときは、モンキーレンチなどで配線をキズつけないようにしてください。

故障の原因になります。また、カバーを取り付けるときは、配線をかみこんでキズつけないようにしてください。



手かざしセンサーおよびシャワートイレの着座センサーの感知領域内に障害物がないようにしてください。(7ページ)

障害物を感知したままの状態では正しく作動しません。

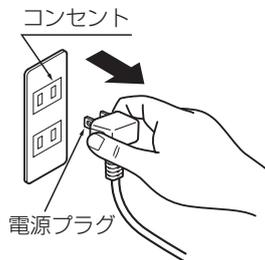


設定のしかた

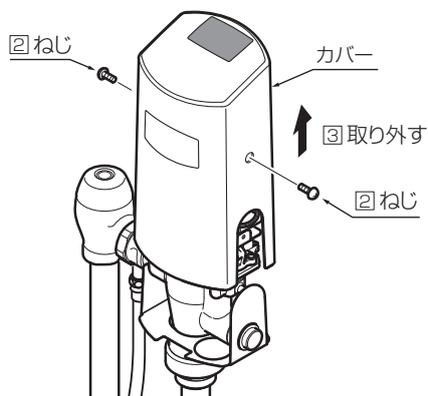
ここでは、切替スイッチ・水量調節スピンドル・洗浄水量の設定のしかたについて説明しています。

切替スイッチ・水量調節スピンドル・洗浄水量の設定手順は以下になります。

1 カバー、ブラケットの取り外し

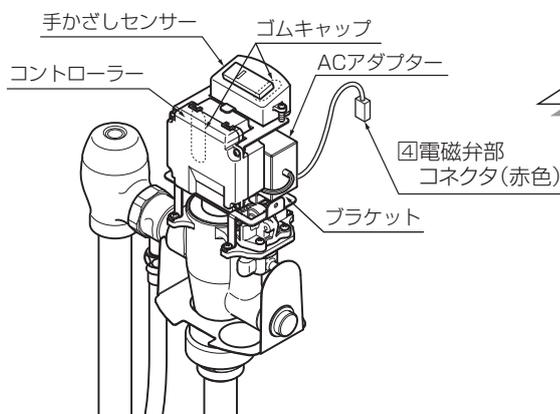


1 電源プラグを抜きます。

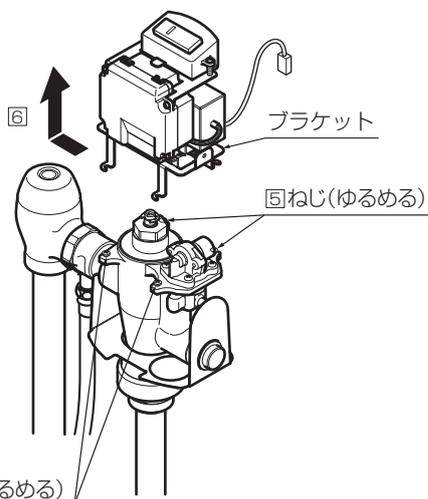


2 カバーのねじ（2か所）を外します。
ねじをなくさないよう、ご注意ください。

3 カバーを取り外します。



4 電磁弁部コネクタ（赤色）を外します。



5 ブラケットのねじ（4か所）をゆるめます。
※電磁弁のねじは外さないでください。

6 ブラケットを横にスライドさせて、取り外します。

ねじ(ゆるめる)

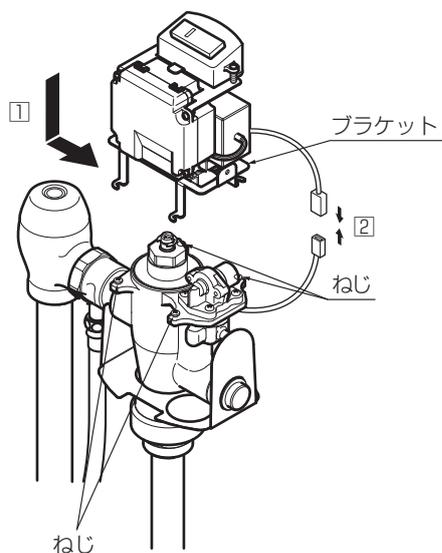
設定のしかた

2 各種設定

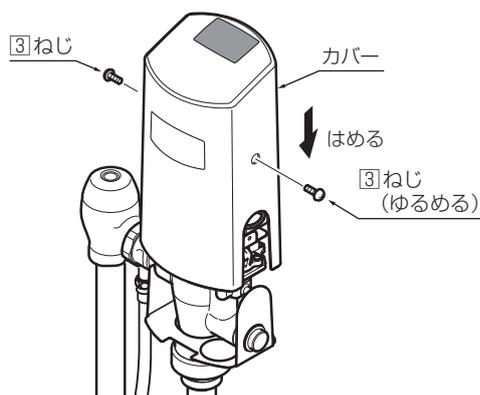
項目により設定方法が異なります。以下のページをご参照ください。

- ・切替スイッチの設定⇒12ページへ
- ・水量調節スピンドルの設定⇒14ページへ
- ・洗浄水量の設定⇒12ページへ

3 ブラケット、カバーの取り付け



- 1 ブラケットをねじ(4か所)で固定します。
- 2 電磁弁部コネクタ(赤色)を接続します。



- 3 カバーをねじ(2か所)で固定します。

全ての設定が終了しましたら、電源プラグを差し込んで、正常に作動することを確認してください。

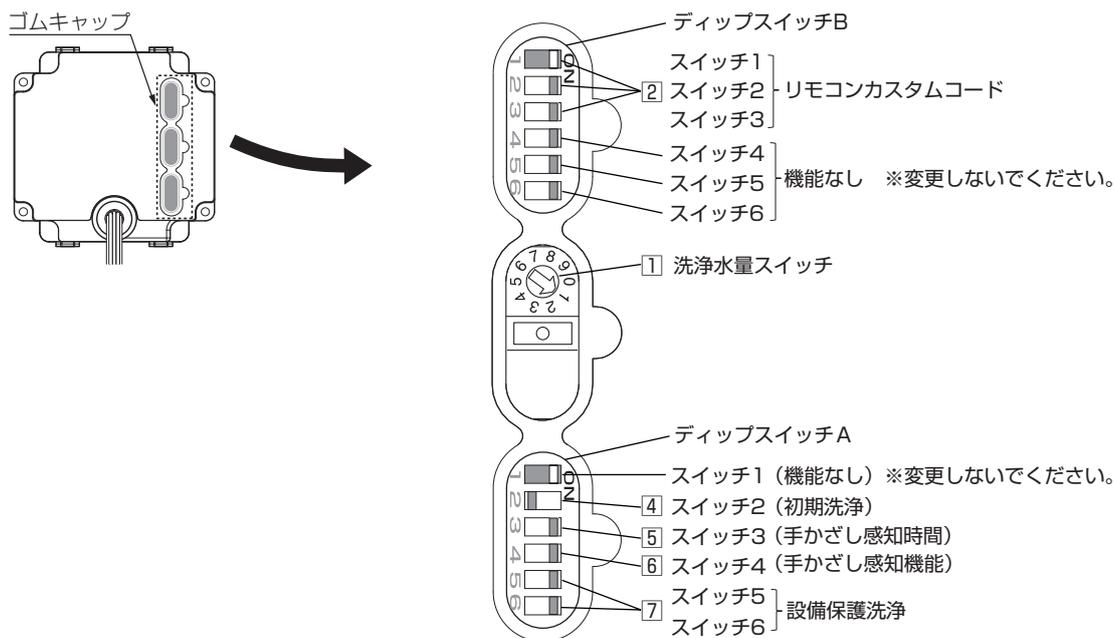
設定のしかた

電源部コネクタ（青色）を外し、コントローラーを外した後、以下の設定へ進んでください。



◆ 切替スイッチの設定

コントローラー裏側の切替スイッチで以下の設定が可能です。コントローラー裏側のゴムキャップを取り外して、設定してください。（下図はコントローラー裏側です。）
各スイッチの切り替えは、精密ドライバー（－）を使用してください。



1 洗浄水量の設定

洗浄水量は、出荷時「大 10L・小 8L」に設定しています。取り付ける便器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。（15 ページ）
※右の表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

洗浄水量		スイッチ番号
大	小	
13L	13L	1
10L	8L	2
8L	6L	3
13L	8L	4
16L	16L	5

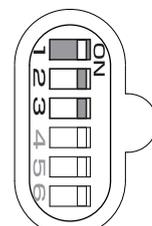
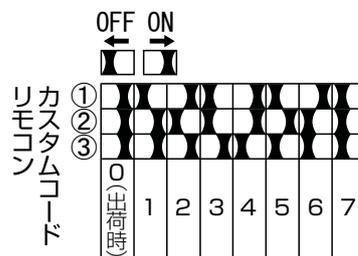


※出荷時は「10L」
（スイッチ番号2）に設定

設定のしかた

② 洗浄信号（リモコンカスタムコード）（ディップスイッチ B）の設定

洗浄信号（リモコンカスタムコード）は、シャワートイレ側の洗浄信号と同じ番号に設定してください。併設して設置する場合は、併設される製品とは別の洗浄信号（リモコンカスタムコード）に設定してください。誤作動の原因になります。



※出荷時は「0」に設定

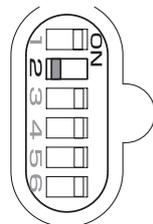
③ シャワートイレ側での設定

下記項目に関しては、シャワートイレ側で設定します。
シャワートイレの取扱説明書をご参照ください。

- 大洗浄・小洗浄判定時間の変更
- フルオート便器洗浄の入／切
- 洗浄信号（カスタムコード）の設定
- フルオート便器洗浄開始時間の変更
- 大洗浄・小洗浄の切替

④ 初期洗浄（ディップスイッチA）の設定

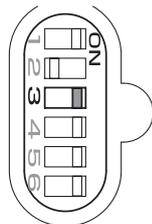
初期洗浄機能は出荷時「しない」（OFF）に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「する」（ON）に設定することができます。



※出荷時は「しない」（OFF）に設定

⑤ 手かざし感知時間（ディップスイッチA）の設定

手かざしセンサーの感知時間は、出荷時「1秒」（ON）に設定しています。スイッチを切り替えることで、「2秒」（OFF）に設定することができます。

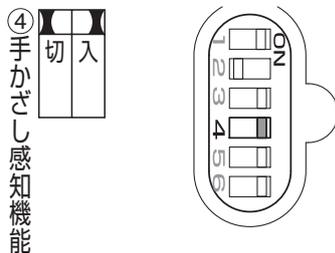


※出荷時は「1秒」（ON）に設定

設定のしかた

⑥ 手かざし感知機能（ディップスイッチA）の設定

手かざし感知機能は、出荷時「入」（ON）に設定しています。スイッチを切り替えることで、「切」（OFF）に設定することができます。



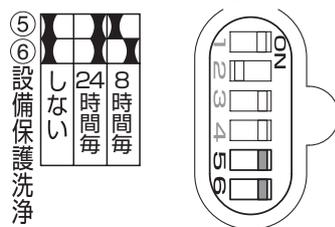
※出荷時は「入」(ON)に設定

⑦ 設備保護洗浄（ディップスイッチA）の設定

設備保護洗浄機能は、出荷時「24 時間毎」に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「しない」、「8 時間毎」に設定することができます。

※「しない」に設定した場合、長時間大便器を使用しないと、封水切れを起こす恐れがあります。

※表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。



※出荷時は「24時間毎」に設定

※ディップスイッチAの1、ディップスイッチBの4、5、6は「ON」で使用してください。「OFF」にすると故障の原因になります。

※設定後、ゴムキャップを付けてください。

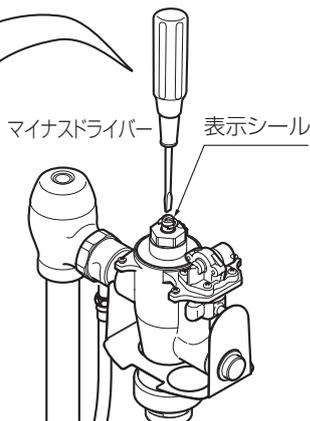
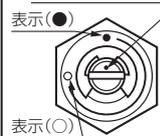
◆ 水量調節スピンドルの設定 自動フラッシュバルブで設定します。

1 適正水量に水量調節スピンドルを設定します。

マイナスドライバーで水量調節スピンドルを回し、適正水量に設定してください。適正水量については、「便器のタイプと設定方法」（15 ページ）をご参照ください。

水量調節スピンドル

このマークを表示に
合わせてください。



2 設定後、ブラケットを固定し、コネクタを接続します。
(要領は、11 ページをご参照ください)

3 カバーを固定します。
(要領は、11 ページをご参照ください)

〔参考〕回転方向について

水量調節スピンドルを左（反時計方向）に止まるまで回すと約 2L 増えます。

水量の調節方法
増える 減る



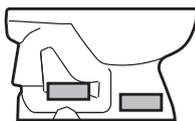
設定のしかた

◆ 洗浄水量の設定

取り付ける便器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。下表の要領に従い、必ず「①洗浄水量スイッチ」と「②水量調節スピンドル」と「③水勢調節スピンドル」の両方の洗浄水量を設定してください。

便器品番の確認方法

■ 便器品番確認位置



洋風便器

水量の調節方法

増える 減る



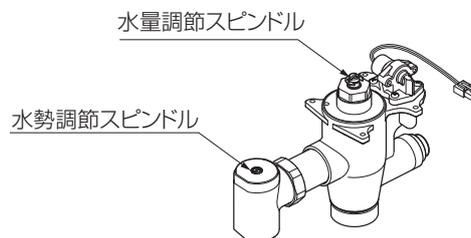
便器のタイプと設定方法

便器品番	①洗浄水量スイッチの設定	②自動フラッシュバルブの水量調節スピンドル位置
C-25PU・C-26U・C-5K	 4 (大 13L/小 8L)	変更なし
C-5RT・C-5RTSM・C-11R・C-13R・C-22PR・C-P13P	 3 (大 8L/小 6L)	 ○マークの位置に合わせる
C-4R・C-4RSM・C-5KR・C-5KRSM・C-5R・C-51	 2 (大 10L/小 8L)	変更なし
その他	 1 (大 13L/小 13L)	変更なし

※ 1：和風便器、汚物流し、C-35、C-35K、C-5FTには取り付けできません。

③ 水勢調節スピンドルの設定

●出荷時、流動時水圧が0.1MPaで約10Lになるように設定しております。ただし、お使いの水圧条件によっては水勢と水量が変動するため、水勢の調節をしてください。(要領は、5ページをご参照ください。)



⚠ 注意



指示実行

洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。
※ 便器の詰まりの原因となります。

●水勢調節スピンドルの調整を行った際は、下記方法で便器の排水を確認してください。
長さ760mmのトイレトパーパーを丸めたものを7個入れ、1回の操作で排出できることを確認してください。

設定のしかた

◆ 操作部の設定

センサースイッチ（OKG-8S型）において、トイレへの入出時に人体が誤検知し、不用意な洗浄が発生する場合は以下の手順で手かざし感知時間の切替を行ってください。
誤作動が改善することがあります。

〈準備工具〉

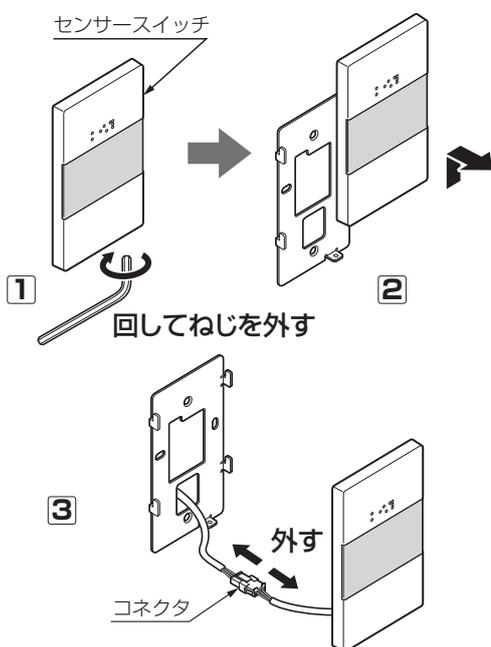


六角キーレンチ
(対面：2.5mm)



精密ドライバー（-）

① センサースイッチの取り外し

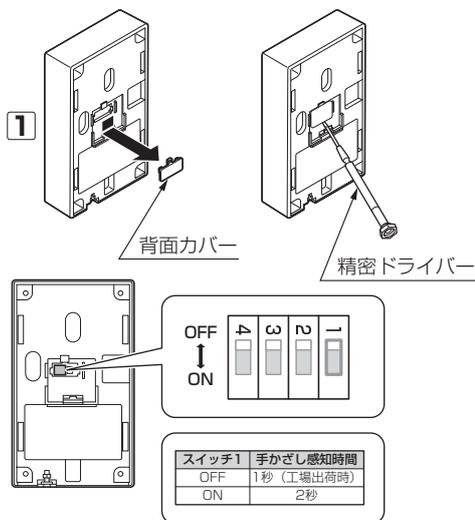


1 六角キーレンチ（対面 2.5mm）を使用し、盗難防止ねじを外します。

2 センサースイッチを上を持ち上げた状態で手前に引き取り外します。

3 有線タイプのみコネクタを外します。
※コネクタを無理に引っ張らないように十分ご注意ください。

② センサースイッチの設定



1 スイッチ背面の背面カバーを取り外します。
(精密ドライバー（-）を背面カバーの下から押し込むと取り外ししやすいです。)

2 スイッチ1を精密ドライバー（-）でON側に切り替えます。

スイッチ1をOFFからONに切り替えることで感知確定時間が1秒から2秒に変更になります。

※スイッチ2～4は変更しないでください。故障の原因になります。（出荷時設定 OFF）

③ センサースイッチの取り付け

設定が終了したら、背面カバーを取り付け、センサースイッチを取り付けてください。

お手入れ方法

ここでは、お手入れ・定期点検について説明しています。

本商品を末永くご使用いただくためにも以下のお手入れを実施してください。

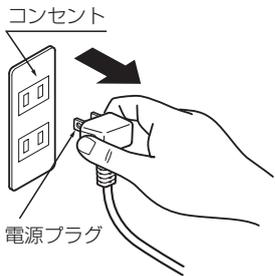
◆ お手入れ

美しさを保つために日頃のお手入れをお願いいたします。

**注意**

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

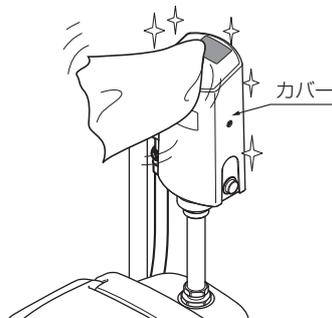

指示実行



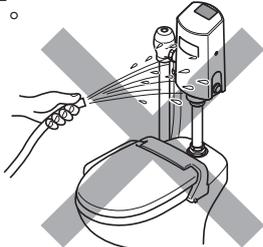
■ カバーのお掃除のしかた

お手入れは、次のことに注意してください。

- 軽い汚れの場合
水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ってください。
- ひどい汚れの場合
適量に薄めた食器用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてください。
- トイレ用洗剤が付着したときは…
トイレ用洗剤が、プラスチック類についてしまったときは柔らかい布で水ぶきしたあと、水滴をふき取ってください。
- 表面を傷める恐れのある、次のものは使用しないでください。
 - ・ 磨き粉などの粒子の粗い洗剤
 - ・ 酸性・アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ ナイロンたわし、金属ブラシなど
 - ・ シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤



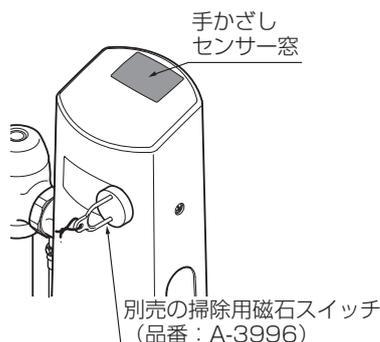
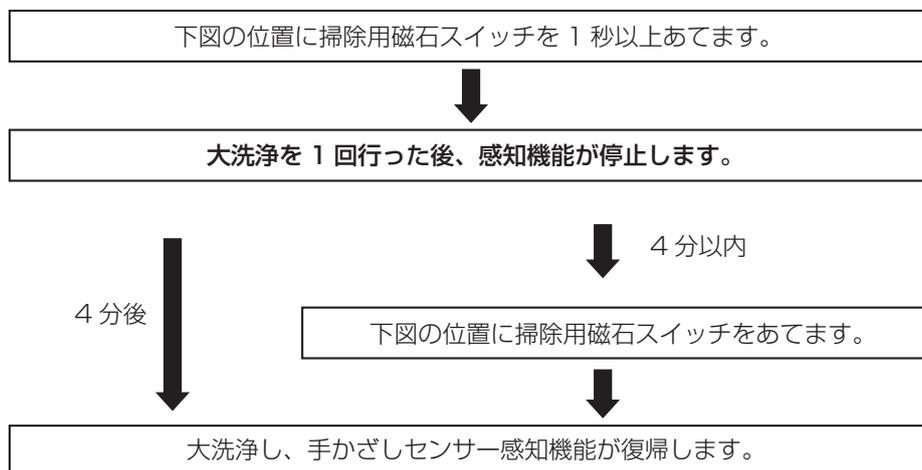
**警告**

 水かけ禁止	<p>本体部や操作部、配線に水や洗剤をかけないでください。 ※感電・火災・故障や外観劣化の原因になります。</p> 	 禁止
	<p>トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールは使用しないでください。 ※感電・火災の原因になります。</p> 	

お手入れ方法

● お掃除モードについて

※ お掃除モードを利用する場合は、別売の掃除用磁石スイッチ（品番：A-3996）を使用してください。



⚠ 警告

- ・掃除用磁石スイッチを、ペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人、およびその他の電子医療機器へは近づけないでください。
※医療機器に影響をあたえる恐れがあります。
- ・磁石には強い吸引力があるため、取り扱いには十分ご注意ください。
※磁性体との間で手や指などが挟まれ、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

- ・掃除用磁石スイッチを、電子機器に近づけないでください。
※計器、制御回路に影響し、事故や故障の原因となります。
- ・掃除用磁石スイッチを加熱したり、温度の高い場所で使用または保管したりしないようにしてください。
- ・掃除用磁石スイッチを、水や湿気のある場所で使用、保管することは避けてください。

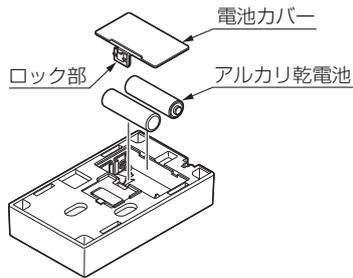
お手入れ方法

◆ 操作部の電池の入れ替え方 (OKC-8SM のみ)

1 センサースイッチの取り外し

操作部の設定参照⇒16ページ

2 乾電池の入れ替え



センサースイッチ(無線)背面

1 背面のカバーを外し、単 3 電池 2 本を入れ替えます。
※乾電池は 1.5V アルカリ電池を使用します。

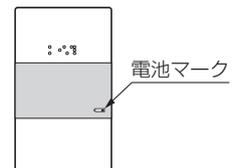
※電池カバーが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具でロック部を解除してください。

3 センサースイッチの取り付け

電池の入れ替えが完了したら、電池カバーを取り付け、センサースイッチを取り付けてください。

⚠ 注意

- ・電池のプラスとマイナスの向きを正しく入れてください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- ・アルカリ電池を使用してください。
- ・電池が消耗すると、センサー窓の「電池マーク」が点灯します。新しいアルカリ電池に入れ替えてください。



参考

付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合がありますので、市販電池への入れ替えをおすすめします。

お手入れ方法

◆ 定期点検のおすすめ

十分な機能を発揮させるため、月 1 回は以下のことを点検・掃除してください。

- 1 掃除の前に
- 2 ピストンおよびシート部の掃除
- 3 ダイアフラムおよびシートの部の掃除
- 4 掃除が終わったら

警告



お手入れ・点検の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※感電の原因になります。

注意



指示実行

ピストンおよびダイアフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

定期的（年2回以上）に配管の周りを見て漏水がないか確認してください。
※部品の劣化・摩耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らす物的損害発生のおそれがあります。

ピストンおよびダイアフラムの掃除の際は、製品表面を傷つけないように注意してください。
※製品の機能を損ねる恐れがあります。

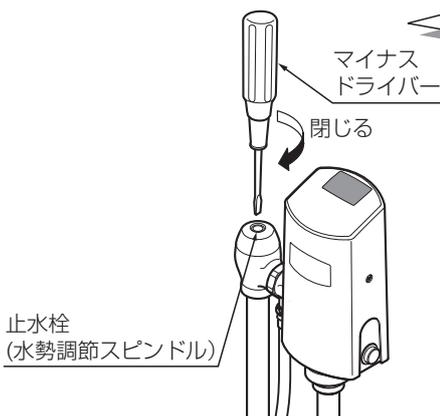
1

掃除の前に

掃除の前に次の準備をしてください。



- 1 電源プラグを抜きます。



- 2 マイナスドライバーで、止水栓の水勢調節スピンドルを閉めます。
(要領は 5 ページをご参照ください。)
※この時、スピンドルを閉めた回転数をメモしておく、戻す時に便利です。

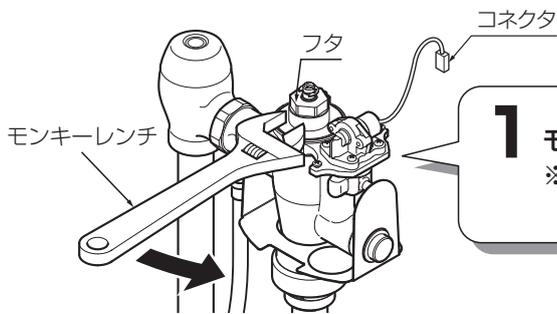
- 3 カバーのねじ（2 か所）を外して、カバーを取り外します。
(要領は 10 ページをご参照ください。)

- 4 電磁弁部コネクタ（赤色）を外し、ブラケットのねじ（4 か所）をゆるめ、ブラケットを外します。
(要領は 10 ページをご参照ください。)

お手入れ方法

2

ピストンおよびシート部の掃除

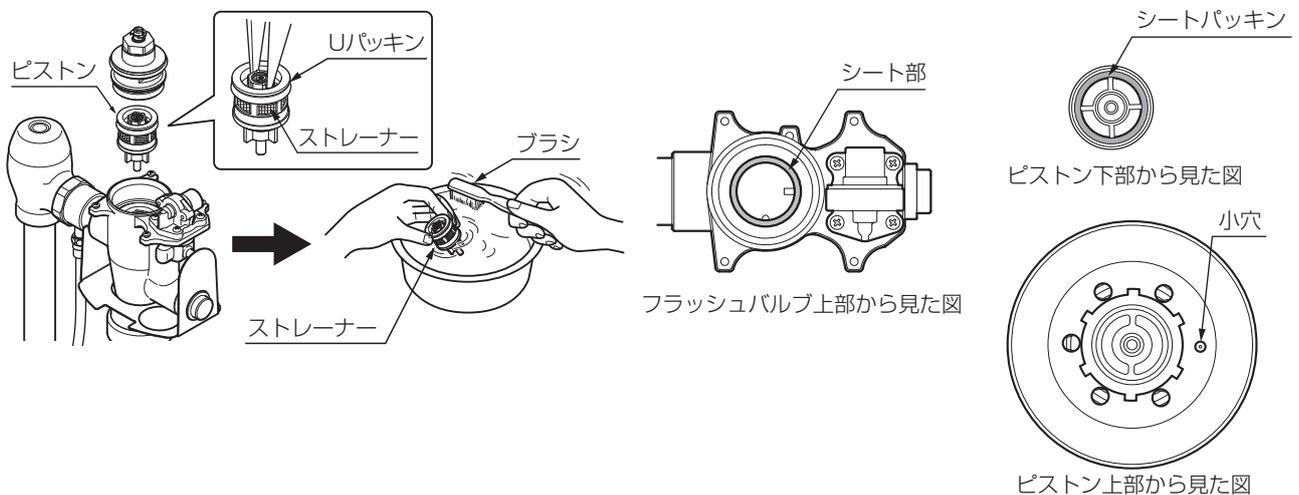


- 1** モンキーレンチなどでフタを外します。
※ 配線等をかみ込まないように、十分ご注意ください。
コネクタに水がかからないよう、十分ご注意ください。

2

ピストンをラジオペンチ等で取出し、ストレーナーおよびシート部を掃除します。

ストレーナーや小穴に詰まったゴミや汚れを歯ブラシなどの先の柔らかいブラシで取り除いてください。
またシートパッキンおよびシート部のゴミや汚れも取り除いてください。
Uパッキンにキズやいたみがないか確認してください。



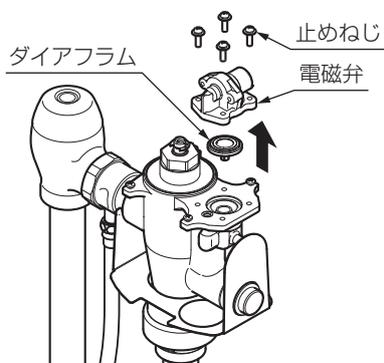
- 3** ピストンをもとの位置に差し込み、フタを閉めます。

フタの内側が著しく汚れている場合、機能を損ねる恐れがありますので、部品の交換をお勧めします。

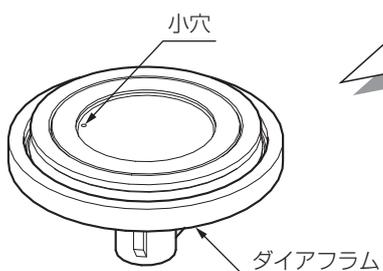
お手入れ方法

3

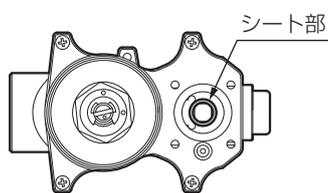
ダイヤフラムおよびシート部の掃除



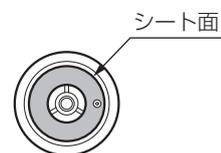
1 プラスドライバーで、電磁弁の止めねじ 4 本を外して、電磁弁とダイヤフラムを取り外します。



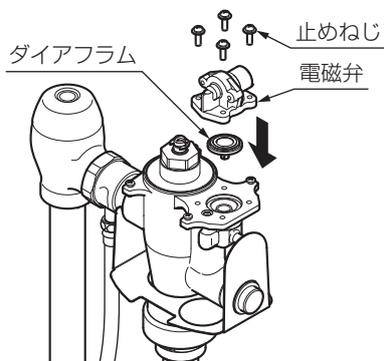
2 ダイヤフラムの小穴に詰まったゴミを、息をふきかけるなどして、取り除きます。
また、シート面およびシート部のゴミや汚れも取り除いてください。



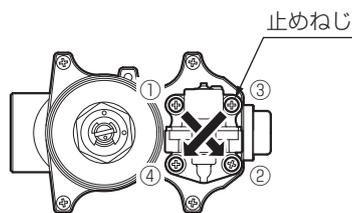
フラッシュバルブ上部から見た図



ダイヤフラム下部から見た図



3 ダイヤフラムと電磁弁をもとの位置にはめ、止めねじ 4 本で固定します。
止めねじを締める際は均等に締まるよう、締めたところから遠い順に締めます。

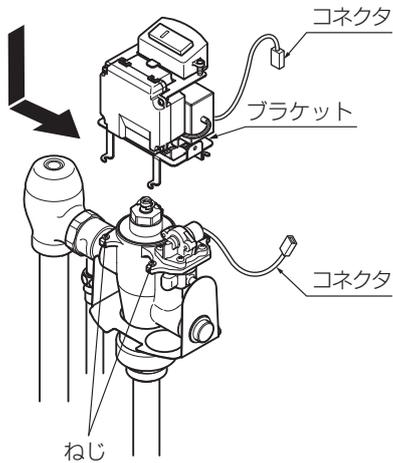


締めた所から遠い順に締める

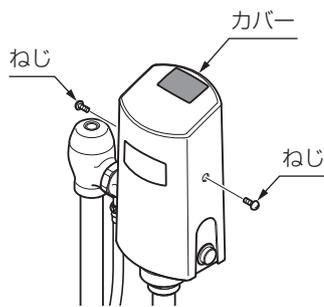
お手入れ方法

4

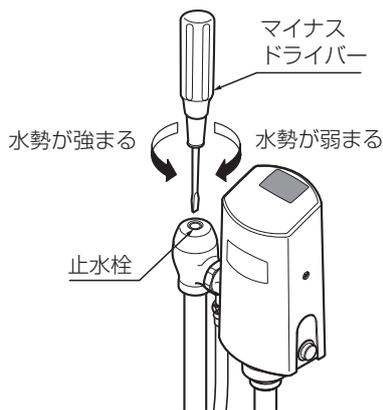
掃除が終わったら



1 ブラケットをねじ（4か所）で固定し、コネクタを接続します。



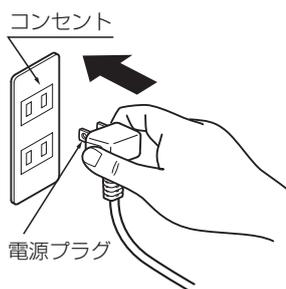
2 カバーをねじ（2か所）で固定します。



3 止水栓の水勢調節スピンドルを回して、適切な水勢に設定します。

（要領は5ページをご参照ください。）

※閉じる時に回転数をメモしていた場合は、メモした元の位置まで開けてください。



4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

※初期洗浄機能が「入」になっている場合は、大洗浄が1回行われます。

水勢の設定が終わりましたら、正常に作動することを確認してください。また、フラッシュバルブ本体からの漏水がないか確認してください。

修理を依頼される前に

◆ 故障かなと思ったら

次のような場合は、故障ではありません。簡単に直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。確認しても直らない場合は、止水栓を閉じ、漏電遮断器を切ってお求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の方は、保守・点検の決められた項目以外は、絶対に分解・修理・改造を行わないでください。

※故障・感電・ケガの原因になります。

現象	確認	処置	
水が流れない	手動洗浄ボタンで流れる	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
		シャワートイレの電源が「切」（温水と便座の表示ランプ消灯）になっていませんか。	シャワートイレの取扱説明書を参照し、電源「入」にしてください。
		電源線は差込形コネクタに差し込まれていますか。	電源線は差込形コネクタに確実に差し込み直します。（5 ページ）
		電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。
		漏電していませんか。（シャワートイレの温水と便座の表示ランプ消灯）になっていませんか。	シャワートイレの電源プラグをコンセントから抜き、一旦ブレーカを戻してから再び差し込みます。それでも作動しない場合は、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
		センサー窓の表面が汚れていませんか。（人体センサー、手かざしセンサー、着座センサー）	汚れをふきとってください。（17 ページ）
		お掃除モードではありませんか。	別売の掃除用磁石スイッチを近づけます。（8 ページ）
		センサーの前に障害物がありますか。（シャワートイレの着座センサー・手かざしセンサー共）	障害物を取り除きます。（8 ページ）
		コネクタは確実に差し込まれていますか。	コネクタを差し込みます。（5 ページ）
		洗浄後 10 秒以内に手をかざしていませんか。	10 秒待ち、手をかざしてください。
		フルオート便器洗浄の設定が解除されていませんか。または長くなっていませんか。（シャワートイレ、自動洗浄形のみ）	「フルオート便器洗浄のしかた」の内容に従って設定してください。（シャワートイレの取扱説明書を参照）
		着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座り方を変えます。（シャワートイレの取扱説明書を参照）
		着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手をかざし、フルオート便器洗浄する事を確認してください。（シャワートイレの取扱説明書を参照）
		シャワートイレからの洗浄信号（カスタムコード）設定はあっていますか。（シャワートイレ、自動洗浄形のみ）	「洗浄信号（リモコンカスタムコード）の設定」の内容に従って、洗浄信号（カスタムコード）を変更してください。（13 ページ） シャワートイレ側の洗浄信号（カスタムコード）も同じ番号に変更してください。（シャワートイレの施工説明書を参照）
停電中ではありませんか。	停電復帰を待ってください。		
手動洗浄ボタンで流れない	止水栓は開いていますか。	止水栓を開けてください。（5 ページ）	
	断水中ではありませんか。	断水が終るまでお待ちください。	

修理を依頼される前に

現象	確認	処置
水が止まらない	ピストンまたは、ダイアフラムと自動フラッシュバルブ本体のシート部にゴミがかんできていませんか。	シート部を掃除してください。(21、22ページ)
洗浄水量が少ない または水勢が少ない	止水栓は適量の水勢になるように開いていますか。	止水栓を開いて調節します。(5ページ)
	洗浄水量設定は正しく行われていますか。	洗浄水量を設定します。(15ページ)
洗浄水量が多い	ピストンのストレーナーにゴミなどが詰まっていますか。	ピストンのストレーナーを掃除してください。(21ページ)
	洗浄水量設定は正しく行われていますか。	洗浄水量を設定します。(15ページ)
大小洗浄しない	洗浄モードが「大洗浄のみ」になっていませんか。	大小洗浄の設定の内容に従って設定してください。(12ページ) (シャワートイレ自動洗浄形は、シャワートイレの施工説明書を参照)
水が勝手に流れる	「設備保護洗浄」、「フルオート便器洗浄」、「お掃除モード」、「初期洗浄」ではないですか。	「ご使用方法」の内容を確認してください。(7、8ページ)
	シャワートイレを併設していませんか。	「洗浄信号 (リモコンカスタムコード) の設定」の内容に従って、洗浄信号 (カスタムコード) を変更してください。(13ページ) シャワートイレ側の洗浄信号 (カスタムコード) も同じ番号に変更してください。(シャワートイレの施工説明書を参照)

アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら」（24 ページ）を参照してください。
それでも直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- 配線の傷みやコンセントのガタツキ
- 配線の過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

警告



指示実行

- 本体が故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
※感電・火災の原因になります。
- 本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※感電・火災の原因になります。
※漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。



分解禁止

- 修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください（この説明書の裏表紙が保証書になっています。）

この商品は保証書がついています。保証書は、お求めの取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取り付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

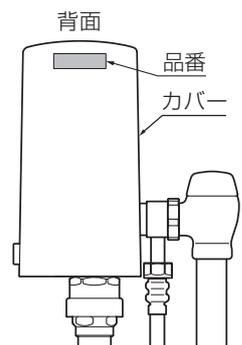
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品番・製造番号
（品番シールをご覧ください。）
3. ご購入日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。



アフターサービスについて

4. 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 10 年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承ください。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、**取り付けの日から6年後です。**

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。

- 部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因になりますので交換が必要です。

点検の目安は、**取り付けの日から3年後です。**

- 摩耗・劣化する部品の例

例) 止水栓、ピストン、ダイヤフラムなど

- 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用される場合

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL :0562-40-4050

FAX:0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間9:00～19:00（365日受付）

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

仕様

品名	オートフラッシュC センサー一体形後付タイプ（100V式） シャワートイレ自動洗浄対応	
品番	OKC-A500SCW	
カバー寸法	130（幅）×110（奥行）×252（高さ）mm	
洗浄水量 調節範囲	大	8～16L 調節可能（出荷時 10L 設定）
	小	6～8L 調節可能（出荷時 8L 設定）
給水圧力	最低必要水圧	0.07MPa（流動時）（瞬間流量 1.7L/秒）以上 ※ C-26U の場合は、0.08MPa 以上
	最高水圧	0.75MPa（静水圧）
電源	AC100V, 50/60Hz	
定格消費電力	常時：3W 以下 バルブ作動時：5W 以下	
電磁弁駆動電圧	DC6V	
電源コード長さ	1.3m	
感知距離	手かざし	100mm 固定（グレー紙 80mm 角の場合）
人体感知確定時間	シャワートイレに着座後 6 秒以上	
手かざし感知時間	1 秒、2 秒に設定可能（出荷時 1 秒）	
大小洗浄判定時間	シャワートイレ側で設定（50 秒 / 120 秒 / 150 秒）（出荷時 50 秒）	
フルオート便器洗浄 開始時間	シャワートイレ側で設定（6 秒 / 10 秒 / 15 秒、フルオート便器洗浄なし）（出荷時 6 秒）	
各種機能	初期洗浄	入 / 切 切替可能（出荷時 切）
	大小洗浄	シャワートイレ側にて大小 / 大 切替可能（出荷時 大）
	掃除洗浄	掃除用磁石スイッチで任意に機能停止復帰が可能 また機能停止 4 分後に、自動復帰
二重洗浄防止	1 度洗浄を行うと、10 秒経過しないと、次の洗浄を行わない	
設備保護洗浄	8 時間毎 / 24 時間毎 / 設備保護洗浄なし（出荷時 24 時間毎）	
給水口径	25A（ねじサイズ R1）	
使用温度範囲	0℃～40℃（ただし凍結の恐れのある場所では使えません）	
使用水	上水	

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名： オートフラッシュCセンサー一体形後付けタイプ(100V式) シャワートイレ自動洗浄対応(品番:OKC-A500SCW)			
保証期間	取付日より2ケ年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名	TEL () -
	おところ		
	おでんわ () -		

無効

お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- [取扱説明書]・[ラベル]などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ

TEX ☎ 0120-179-400
FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00
土日・祝日 9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ

TEX ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～19:00(365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>